

患者さまとご家族に安心と信頼をお届けするマガジン／

はつらつ通信

2019.5.1 May vol.154

発行：医療法人北志会 札幌ライラック病院 編集：はつらつ通信局



季節を感じる節分行事

デイケアで豆まきを行いました

2月1日(金)、デイケアで毎年恒例の豆まきを行いました。鬼に扮した職員が登場し、ご利用者さまに豆をまいてもらうというのが行事の基本的な流れですが、これだけだと豆まきという作業をこなすだけになってしまいがちで、行事自体があまり盛り上がりがないことをデイケア職員は過去の経験から知っていました。

今年の豆まきはレクリエーションを交えた構成。ボールを穴に投げ入れて得点を競うゲームを行い、青鬼と赤鬼がボールの邪魔をしに現れるという趣向です。ゲームが終わるころ、鬼はしっかり悪役になっていました。袋菓子の豆を投げつけての鬼退治に、会場は大いに盛り上がりました。その後、豆はおやつタイムのお茶菓子として召し上がっていただきました。



肝臓外来と禁煙外来が今春からスタート

専門性と信頼性に優れる専門外来

この春、札幌ライラック病院はふたつの専門外来を開設。肝臓専門医と呼吸器専門医が治療にあたります。

特定分野の専門医が診療する専門外来

「専門外来」は、特定の臓器や病気の症状をその分野の専門医が診る外来のことをいいます。

ほとんどの医師は専門領域を持ち、その領域は同じ診療科でも細かく分かれていきます。糖尿病学会専門医で肝臓専門医でもある本庄恭補院長が診療する当院の「糖尿病代謝内科」のように専門領域が明確な標榜科目もありますが、「一般内科」だと医師の専門性がわかりにくいのが実情です。

専門外来は、医師が専門的な知識と豊かな経験を持つ領域が明快なので、患者さまにとっては確実に専門医に診てもらえるというメリットがあります。また、医療法で

定められている標榜科目と違い、わかりやすい名称で初診の患者さまを迷わせないのも専門外来の特色です。

ピロリ菌外来とも忘れ外来を持つ当院に今春、肝臓外来と禁煙外来というふたつの専門外来が新たに加わりました。それぞれを担当する専門医に話を聞きました。



肝臓外来の志田勇人理事長

「肝臓外来」増加傾向の脂肪肝やC型肝炎の専門医

「飲酒習慣のない非アルコール性脂肪肝が増加しています。健診で専門医の受診を勧められた方にはぜひ肝臓外来を活用してもらいたいですね」と、肝臓専門医の志田勇人理事長は開設の意義を語ります。

近年増加傾向にある非アルコール性脂肪肝は、割合こそ少ないものの1〜2割が、お酒の飲み過ぎによるアルコール性脂肪肝と同じように徐々に悪化し、肝炎や肝硬変、肝がんなどの発症に至るとされます。「沈黙の臓器」と呼ばれる肝臓は、自覚症状が出たときには手遅れであることが多いため、初期段階から食事療法や運動療法などで

生活習慣を改善していく必要があります。

肝臓外来では、触診や血液検査、エコー検査などで肝臓の状態を定期的に診ながら、状態を悪化させないように食事指導なども行います。

また、ここ数年新薬が目覚ましい効果を発揮しているC型肝炎の治療も肝臓外来が専門とする分野。従来のインターフェロン治療と異なり、副作用はほとんどありません。医療給付制度で医療費補助も受けられますのでご相談ください。



C型肝炎の経口新薬「マヴィレット」

「禁煙外来」やめたいと思ったらすぐに相談できる場

喫煙できる場所が減り、健康によくないとわかっていてもなかなかやめられないタバコ。「一人で続けるのはなかなか難しい禁煙を、専門外来でお手伝いできれば」と呼吸器専門医の呉屋裕樹医師は話します。

さまざまな呼吸器疾患を診てきた経験からタバコの害を実感し、「やめるのが望ましい」と説き続けてきた呉屋医師にとって、禁煙外来はやりたかったことのひとつでした。特に、40、50代になると健康を大きく損なっているであろう若いヘビースモーカーに「ぜひ早めに禁煙に取り組んでほしい」と訴えます。



禁煙補助薬「チャンピックス」



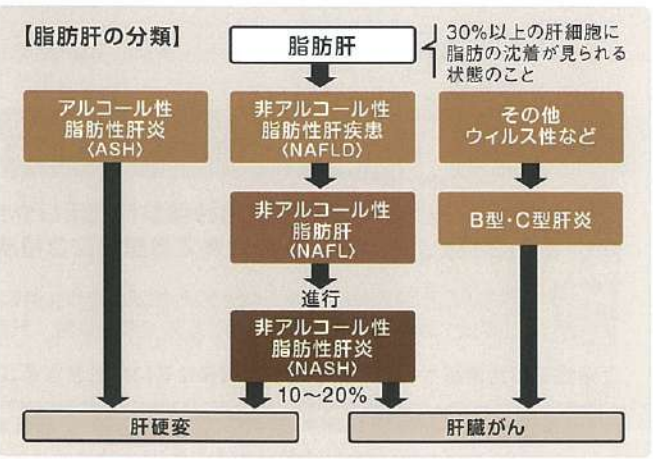
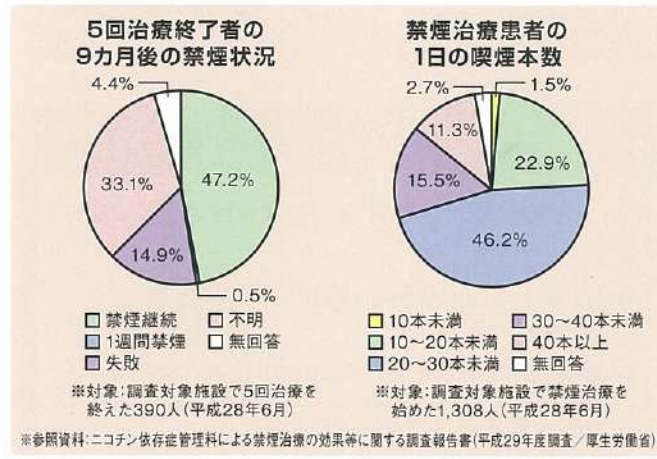
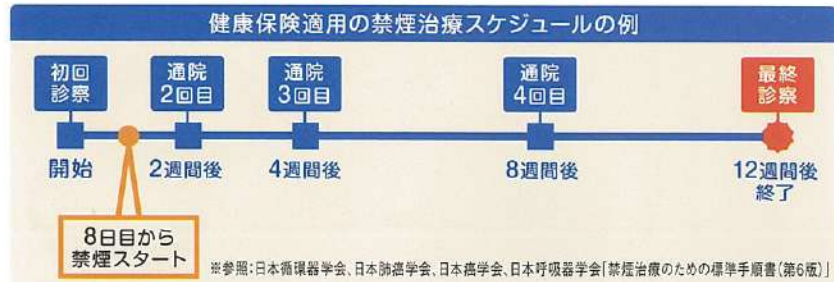
禁煙外来の呉屋裕樹医師
1973年、長野県松本市生まれ。北海道大学医学部卒業。長野赤十字病院、手稲済仁会病院等を経て、2018年4月当院入職。肺がんを主に、肺気腫、間質性肺炎などに豊富な診療経験を持つ。

治療では患者さま個々の喫煙歴やキャラクターを把握した上で、禁煙補助薬を処方し、治療経過を見守り、禁煙中の離脱症状の相談にのります。一定条件を満たせば健康保険も適用。「繰り返すことになっても構わないんです。あきらめないことが大切」と、呉屋医師はタバコをやめたい方に呼びかけます。



専門外来名	診療開始	診察日
肝臓外来	4月1日(月)～	★
禁煙外来	5月13日(月)～	月曜午後(要予約)

★肝臓外来の診察日は、担当医師(志田・本庄)の外来診察日と向います。外来医師担当表もしくは当院へのお電話で事前にご確認ください。



医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研鑽します。

基本方針

- 患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 職員は、責任と誇りを持ち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

- 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
- 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
- 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
- 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
- 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
- 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
- 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
- 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

透析の入院患者さまに新メニュー 麺類で昼食にバリエーション

メニューの幅を広げ 食をもっと楽しく

この4月から第1・3水曜と木曜、透析の入院患者さまに主食をごはんからうどん・そばに代えた昼食を試験的に提供しています。

当院では、透析という負担の大きい治療を受ける患者さまに、少しでも楽しいひとときをと考え、おやつの日を設けてお菓子をお出ししていました。しかし、実施から数年が経ち、個別包装のお菓子を手元で保存



4月3日(水)の昼食はうどん

したまま忘れてしまったり、おやつの日が習慣化して患者さまにとってのお楽しみ感が薄れてしまったなどの課題が挙がっていました。

透析ケア委員会でサービス内容を再考した結果、それまで提供頻度の少なかった麺類を主食に採り入れる案に着目。現在の透析患者さまには、透析治療を始めて間もない方などADL(日常生活動作)の高い方が多く、麺類のご希望もあったことから採用を検討し、実際に食べていただいて聞き取りを行う作業に入りました。

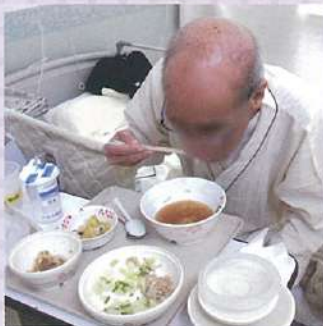
患者さまの声を聞き 今後も工夫を加えて

現在は、従来の献立から主食だけ麺類に代えて、患者さまの声を聞きながら、透析の状況や検査数値への影響を調べています。



大島美奈子管理栄養士

「委員会の検討はあくまで職員の意見。まずは喫食される患者さまにお聞きしないと」と大島美奈子管理栄養士。良い評価が得られれば、同等の栄養価の中でさらに新しい献立を検討し、バリエーションを増やしていく予定です。



送迎付き 企業健診のおしらせ

当院では、企業様が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、一般の健診とは別体系の料金を設定しています。無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

基本健診 問診、服薬歴・喫煙歴の確認 / 自覚症状・他覚症状の有無の検査 / 身長・体重・血圧・聴力検査・視力検査 / 腹囲測定 / 尿検査 / 胸部エックス線検査 / 貧血検査 / 肝機能検査 / 脂質検査 / 血糖検査

企業料金

4,000円

企業健診は企業様からのお申し込みに限らせていただきます。(お申込み人数に制限はございません。1名様からお申込みいただけます。)

【企業健診】①在職職員様対象の定期健康診断 ②新入職員様対象の雇用時健康診断があります。

※②については「心電図検査」が必要となりますが、当院では1,000円の追加料金にて当該検査をお受けいただくことも可能です。



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

☎011-812-8822

URL <http://www.lilac.or.jp>

診療時間 [平 日] 9:00~12:30 13:30~17:00
[土 曜] 9:00~12:00

面会時間 [平 日] 14:00~20:00
[土 日 祝] 12:00~20:00

